

「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」事業概要

● 事業名

令和元年度 障害者による文化芸術活動推進事業（文化芸術による共生社会の推進を含む）「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」

● 実施期間

令和元年5月7日～令和2年3月31日

● 事業の趣旨・目的

劇場・音楽堂等の設置者及び運営者のみならず、劇場・音楽堂等を利用して公演を行う芸術団体双方に対し、障害者等に対するバリアフリー化のための情報提供・指導・助言を行うことができる総合的な相談窓口（仮称「劇場・音楽堂等バリアフリー化サポートセンター」）を開設し、バリアフリー化のための普及・啓発と具体的な支援を進めることにより、すべての人々が分け隔てなく文化芸術活動に参加できる環境づくりの推進に寄与することをめざす。

● 事業内容（5か年計画）

第1年目：実態調査・ヒアリング・分析、情報提供体制の整備（相談窓口設置及びホームページの作成、メールマガジンの発信）、障害者等対応ガイドブックの作成、改修時整備ガイドラインの検討、研修会等の開催（年1回）

第2年目：情報提供体制の充実（専門家派遣・指導）、研修会等の開催（年3回）、バリアフリー機材・機器展示会

第3年目～5年目：情報提供体制の充実、研修会等の開催（年4回）、展示会、バリアフリー化表彰制度及び認証制度等の検討

● 本年度の事業内容

I 調査・ヒアリング・課題分析

- (1) 有識者会議の設置（総会・専門部会）
- (2) 調査・ヒアリング実施、課題分析

II 情報提供体制の整備

- (1) 相談窓口の設置
専門相談員の配置
専門家・協力機関・団体との連携
- (2) ホームページの作成
バリアフリー環境整備メニュー

バリアフリー化先進事例の紹介

バリアフリー公演実施の方法

バリアフリー実施公演の紹介

バリアフリー機器・機材・ソフトの紹介 等

改修時のバリアフリー化整備ガイドライン紹介

(3) メールマガジンの発信（2か月に1回程度予定）

III 障害者等ガイドブックの作成

劇場・音楽堂等で取組むことが望ましいサポート体制をガイドブックとして発行し、全国の公立文化施設や芸術団体等に配布する

IV 研修会等の開催

開催場所：1か所（関東） ※当協会が別途実施する研修会で実施

対 象：劇場・音楽堂等職員（80施設程度）

内 容 例：「障害者による文化芸術活動推進法」における合理的配慮と具体的対応

自館におけるバリアフリー状況の確認・自館においてできるバリアフリー対応

「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」実施報告

1 有識者会議

● 設置目的

事業を実施するにあたり、有識者の見識を伺い、具体的な事業の進め方等助言を得る。

● 検討事項

- (1)障害者が劇場・音楽堂等の事業に分け隔てなく参加するために、劇場・音楽堂等が対応すべき各種課題の提示
- (2)劇場・音楽堂等のバリアフリー対応を促進するため、情報提供体制の整備、情報提供方法及びコンテンツ内容の検討等
 - ・相談窓口の設置・専門家・協力機関・団体との連携
 - ・ホームページの作成、・メールマガジンの発行・ガイドブックの発行等

● 委員

- | | |
|------|--|
| 尾上浩二 | 認定 NPO 法人 DPI 日本会議副議長 |
| 南部充央 | (一社) 日本障害者舞台芸術協働機構 理事長
(公社) 全国公立文化施設協会コーディネーター |
| 廣川麻子 | NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク理事長
(公社) 全国公立文化施設協会コーディネーター |
| 間瀬勝一 | パルテノン多摩館長兼事務局長
(公社) 全国公立文化施設協会アドバイザー |
| 本杉省三 | 劇場計画研究者（工学博士・一級建築士）日本大学名誉教授
(公社) 全国公立文化施設協会アドバイザー |

● 有識者会議（第1回）

- | | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和元年 8 月 14 日(水)13:30～15:30 |
| 会場 | 東京都中小企業会館 4 階南側会議室 |
| 出席者 | 尾上浩二、南部充央、廣川麻子、本杉省三 |
| 議題 | ① 事業概要説明
② 事業内容検討 <ul style="list-style-type: none">・ホームページについて ・メールマガジンについて・相談受付体制の整備について ・ガイドブックについて・全国アートマネジメント研修会について |

● 有識者会議（第2回）

- | | |
|------|-------------------------------|
| 開催日時 | 令和元年 10 月 16 日(水) 13:30～15:30 |
| 会場 | 東京都中小企業会館 4 階南側会議室 |

出席者 尾上浩二、南部充央、廣川麻子、間瀬勝一

議題 ① 事業内容検討

- ・ホームページについて
- ・メールマガジンについて
- ・相談受付体制の整備について
- ・ガイドブックについて
- ・全国アートマネジメント研修会について

● 有識者会議（第3回）

開催日時 令和2年3月2日(月)13:30~15:30

会場 東京都中小企業会館1階会議室

出席者 尾上浩二、南部充央、廣川麻子、間瀬勝一、本杉省三

議題 ① 事業実施状況報告（ガイドブック、ホームページ、メールマガジン等）

② 討論（劇場・音楽堂等のバリアフリー化推進への提言）

2 専門部会

● 設置目的

有識者会議委員の中から専門委員を3名委任し、「障害者等対応ガイドブック」の企画、編集等を行う。

● 検討事項

「障害者等対応ガイドブック」の企画、編集、執筆、校正（原稿確認）等

● 委員

廣川麻子 NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク理事長

（公社）全国公立文化施設協会コーディネーター

間瀬勝一 パルテノン多摩館長兼事務局長

（公社）全国公立文化施設協会アドバイザー

本杉省三 劇場計画研究者（工学博士・一級建築士） 日本大学名誉教授

（公社）全国公立文化施設協会アドバイザー

● 専門部会会議（第1回）

開催日時 令和元年9月19日(木)10:00~12:00

会場 東京都中小企業会館4階南側会議室

出席者 廣川麻子、本杉省三

議題 ガイドブックについて

- ・編集・発行方針について
- ・タイトルについて
- ・全体構成、章立て、内容について
- ・各委員の担当（執筆等）について
- ・スケジュールについて

3 ヒアリング（ラウンドテーブル）

● 目的

事業を実施するにあたり、問題点の洗い出し、基礎的な資料収集を行う。

ガイドブックの作成にあたり、当事者からの意見を伺い、反映するとともに概要をホームページ等でも情報提供を行う。

● 実施内容

開催日時 令和元年 10月 15日(火) 10:00～13:00

会場 東京都中小企業会館 4階南側会議室

出席者 本杉省三 有識者会議委員

岩下恭士 毎日新聞 編集編成局デジタル編集グループユニバーサロン編集長

大河内直之 東京大学 先端科学技術研究センター 特任研究員

土屋峰和 NPO 法人 自立生活センターSTEP えどがわ 事務局長

テーマ 劇場・音楽堂等における施設面での課題について

- ・最寄り駅から建物に入るまでの問題
- ・建物の中の問題
- ・非常時の問題
- ・出演する側、スタッフ側からの問題
- ・練習室等の問題 等

※詳細 「当事者から見た劇場・音楽堂等のバリアフリー化」 報告書 参照

4 相談対応

● 目的

劇場・音楽堂等の職員及び実演者からバリアフリー化にあたっての質問等を受付、質問に応じて専門家とつなぎ、問題の解決をすることでバリアフリー化を推進する。

● 相談受付方法

電話、FAX、ホームページ受付専用フォーム（メール）等

● 回答方法

電話、FAX、メール等

● 相談件数

4件

- ① 車椅子席・介助者席に対する考え方や、介助者の料金について（指定管理者）
- ② 30年経つ施設だが、車椅子利用者等に対し設備上行うべき対策や接遇研修時の講師を紹介してほしい（指定管理者）
- ③ 電動車椅子が増えているようだが、劇場での制限やトラブルはないか（民間シンクタンク）

- ④ 築 30 年経っているホールの長寿命化でトイレのバリアフリー化を検討しているが、何か支援してもらえないか（市役所）

5 バリアフリー化推進ホームページの開設

● 目 的

劇場・音楽堂等でのバリアフリーについて、ホームページやメールマガジンで情報提供を行い、バリアフリー化を推進する。

● サイト名称

劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト

https://www.zenkoubun.jp/barrier_free/

● 掲載内容

- ・バリアフリー化推進プロジェクト概要（事業の概要解説）
- ・お知らせ（お知らせ、HP更新情報等掲載）
- ・相談受付フォーム（相談申込受付専用フォーム）
- ・アクセシビリティに対する基本的考え方、対応
- ・補助金、助成金情報（国、文化庁、民間団体・企業等の助成金、補助金情報を掲載）
- ・バリアフリー公演情報（鑑賞サポート等の付いた公演、イベント等の紹介〈TA-Net 公演情報へのリンク〉）
- ・参考資料、関連団体、その他

6 バリアフリー化推進メールマガジンの配信

● 目 的

劇場・音楽堂等に勤務している人をはじめ、広く情報を伝える。

● タイトル

全国公文協 バリアフリー化推進プロジェクト（「情報フォーラム」の増刊）

● 送付先数

約 3,800 通/回

● 第 1 回発行

発 行 日 令和 2 年 1 月 31 日

- 掲 載 内 容
- 1) バリアフリー化推進プロジェクト
 - 2) バリアフリー化推進プロジェクト 相談窓口開設
 - 3) 字幕表示タブレットモニター 募集中（無償）
 - 4) 文化庁「令和 2 年度障害者による文化芸術活動推進事業」募集開始

5) 文化庁 障害者による文化芸術活動推進事業 ウェブサイト公開

● 第2回発行

発行日 令和2年2月28日

- 掲載内容
- 1) バリアフリー化改修工事により固定資産税が減免（特例措置の期間延長）
 - 2) TA-net アクセシビリティ公演情報サイト&メルマガのご案内
 - 3) バリアフリー化推進プロジェクト
 - 4) バリアフリー化推進プロジェクト 相談窓口開設
 - 5) 文化庁 障害者による文化芸術活動推進事業 ウェブサイト公開

● 第3回発行

発行日 令和2年3月27日

- 掲載内容
- 1) アクセシビリティ・ガイドブックを発行しました
 - 2) チェックリストを作成しました
 - 3) ホームページを充実させました
 - 4) 事業報告書を作成しました
 - 5) TA-net『観劇サポートガイドブック』改訂版と電子書籍が発行
 - 6) 文化庁 障害者による文化芸術活動推進事業 ウェブサイト公開

7 障害者等対応ガイドブックの作成

● 目的

劇場・音楽堂等の職員を主な対象とし、劇場・音楽堂等におけるバリアフリー化を進めるための参考及び職員研修等で活用できるガイドブックを作成し、バリアフリー化を推進する。

● 専門部会

有識者会議の委員からガイドブック編集のための専門部会を組織し、検討、執筆、監修等を依頼。（詳細 2 専門部会 参照）

● タイトル

「劇場・音楽堂等アクセシビリティ・ガイドブック」

● 仕様等

A 5判 58 ページ

● 内容

- 第1章 障害者の文化・芸術活動推進と劇場・音楽堂等に求められるもの
- 第2章 障害への理解
- 第3章 劇場・音楽堂等における対応
- 第4章 劇場施設におけるアクセシビリティ
- 付属資料 劇場・音楽堂等における取組事例



- 発 行
令和2年3月
- 配布先
劇場・音楽堂等 2,200 か所
劇場・音楽堂等に係る専門家、関連団体、地方自治体等

8 バリアフリー化推進のための研修会の実施

- 目 的
劇場・音楽堂等の職員を主な対象とし、作成しているガイドブック（仮版）をテキストに、「障害者差別解消法」「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」等の理解を深め、それら理念に沿った施設運営等について講義を行い、バリアフリー化を推進する。
- 実施内容
テ ー マ 「劇場・音楽堂等のアクセシビリティを考える！－すべての人に開かれた劇場・音楽堂であるために－」
開催日時 令和2年2月6日（木）10:00～12:00
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
モデレーター 間瀬勝一 パルテノン多摩館長兼事務局長
講 師 尾上浩二 認定 NPO 法人 DPI 日本会議副議長
鈴木京子 国際障害者交流センタービッグ・アイアーツ・エグゼクティブプロデューサー
参加者数 200 名
※文化庁委託事業「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント・舞台技術研修会」内プログラムで実施
※詳細 「劇場・音楽堂等のアクセシビリティを考える－全ての人に開かれた劇場・音楽堂等であるために－」 報告書 参照

9 その他の事業

- 字幕表示タブレットモニター募集
「平成30年度文化庁戦略的芸術文化創造推進事業（共生社会実現のための芸術文化活動の推進）劇場・音楽堂等の情報バリアフリー化に向けた最適システムの構築に関する調査・検証事業」を受け、字幕表示の普及に向けた取組として字幕表示タブレットのモニターを募集し、検証を行った。

令和元年度障害者による文化芸術活動推進事業（文化芸術による共生社会の推進を含む）
「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」報告書

募集期間 令和元年11月22日～令和2年3月31日
応募者数 6施設（内2施設 新型コロナウイルス感染症に係る措置のため中止、延期）